

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）  
事後評価報告書

1. 補助事業課題名 : 慢性痛の評価モジュールを搭載した疼痛評価システムの  
開発・事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 長谷川 新（PaMeLa 株式会社）

<評価コメント>

慢性疼痛の評価に繋げるべく、痛みを定量化・可視化することを目標としている。当初目標に対し、術後疼痛に限定しての治験実施、薬事承認を目指すことに変更し、申請に向けての準備が進んでいる点は評価できる。

アンメットニーズに対する製品の場合、海外研究者と協同で開発することにより、海外の臨床現場のニーズ、販売展開の戦略立案が可能になるので、検討していただきたい。

以上